



～住まう人も訪れる人もともに慶びを分かち合える“令和の都 だざいふ”～

概要版

このような状況を踏まえ、本市の観光を総合的かつ体系的に推進していくために「第二次太宰府市観光推進基本計画」を策定しました。

また、太宰府市の他分野の計画や他部局で実施する施策等における観光分野に係る部分は、本計画との調整を図るものとします。

本計画の期間は、令和6年度から令和10年度の5年間とします。

令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
太宰府市観光推進基本計画 基本計画（追加変更）					第二次太宰府市観光推進基本計画				
●改元「令和」（令和元年5月1日） ●コロナ禍（令和元年12月～） ●日本遺産「古代日本の『西の都』 ～東アジアの交流拠点」広域型認定（令和2年6月～）					●「令和」改元5周年（令和6年5月1日） ●太宰府館開館20周年（令和6年10月） ●大阪・関西万博（令和7年4月～10月） ●九州国立博物館開館20周年（令和7年10月）				
●太宰府天満宮「御本殿」 令和の大改修（令和5年5月～）					●太宰府天満宮 菅原道真公千二百五周年大祭（令和9年）				

「令和の都だいたい心」として本市が有する歴史や文化などの地域資源を活用して、地域市民や民間事業者等と連携し体験型観光による地域活性化を促進するとともに、観光客からの経済税収効果をさらに高め、市民にその効果を還元できる観光まちづくりを目指します。

住まう人も、訪れる人もともに喜びを分かち合える“令和の都 だざいふ”
～大太宰府観光への挑戦～

観光を核とした地域活性化(イメージ図)

市民 (住まう人)

- 生活環境の改善
- 観光施策への参画による生きがいの創出
- 地域への愛着と誇りの醸成

地域 (行政、地元観光団体、学校等)

- 観光消費に伴う収益増
- 観光消費に伴う税収増
- 収益増に伴う経営体力の向上
- 地域活性化への貢献

観光客 (訪れる人)

- 観光満足度の向上
- 滞在時間の増
- 訪問回数の増
- 回遊性の向上

民間事業者 (宿泊・旅行・飲食・商工・交通等)

- 観光消費増に伴う収益増
- 収益増に伴う再投資
- 地域への貢献度増

地域資源 (歴史・文化財・自然等)

- 地域資源磨き上げへの再投資
- 文化財、自然環境の保護
- 地域環境の改善

観光による地域活性化の好循環

- 観光素材の高付加価値化
- 観光商品造成販売
- 戦略的観光プロモーション
- 観光消費の増
- 太宰府観光ニーズ増

関係者が一体となった地域資源の発掘・磨き上げ

近隣自治体

連携による観光地域づくり

～太宰府・大宰府・だざいふについて～

古代は「大宰府」と表記されていましたが、中世以降「太宰府」の表記へと移り変わりました。

「だざいふ」の表記は、いにしへの「大宰府」もいものの「太宰府」もあわせてまると「だざいふ」の魅力をアピールして行こうという試みです。

本計画において、将来の本市の観光戦略の成長目標として、3つのKPI（重要業績評価指標）を設定します。

KPI	観光消費額単価	リピート率	観光に対する市民意識
内容	観光客の太宰府市内での観光消費額の単価 (1回の来訪あたり・1人あたり)	太宰府市を訪問している観光客における2回目以上の訪問である割合	観光客の来訪に対して「好ましい」と考える太宰府市民の割合
計測方法(案)	観光客に対するアンケート (聞き取りやWEB等)	観光客に対するアンケート (聞き取りやWEB等)	市民意識調査 (太宰府まちづくり市民意識調査)
実績値 (令和5年度)	日本人観光客：4,663円 外国人観光客：4,998円	日本人観光客：54.4% 外国人観光客：17.0%	80.4% (※令和4年度数値)
目標値 (令和10年度)	日本人観光客：5,600円 外国人観光客：6,000円	日本人観光客：57.9% 外国人観光客：20.5%	85.0%

5つの基本戦略と基本施策

本市の観光を取り巻く状況と目指す姿に基づき、本市が今後5年間に取り組むべき観光戦略として、5つの基本戦略を掲げるとともに、基本戦略ごとに具体的な取組として基本施策を設定します。

基本戦略1 観光コンテンツの開発・磨き上げ

～背景・課題～

- ◇通過型の来訪者が多く、観光客数が観光消費額の増加に繋がっていない
- ◇太宰府天満宮及び参道エリアに観光客が集中

～方針～

- ◇回遊性・リピート率向上や観光消費額単価の増加に繋がるような新たな観光コンテンツの開発や既存の観光コンテンツの磨き上げ

基本施策① ツアー・回遊ルート・体験型コンテンツの造成・整備

- ・回遊性向上に繋がるようなツアーや回遊ルートを造成・整備

基本施策② イベントの実施

- ・回遊性向上や消費額増に繋がるようなイベントを実施

基本施策③ グルメ・特産品の開発

- ・消費額増に繋がるようなグルメ・特産品を開発

基本施策④ 日本遺産「西の都」の活用

- ・日本遺産「西の都」を活用した観光コンテンツを開発

基本施策⑤ 宿泊・ナイトタイムエコノミー等への取組

- ・宿泊やナイトタイムエコノミー等、様々な時間帯に関するコンテンツを充実

基本施策⑥ インバウンド誘客

- ・インバウンド誘客に向けたコンテンツ開発

基本戦略2 効果的な観光プロモーションの推進

～背景・課題～

- ◇太宰府天満宮周辺エリアから大宰府政庁跡周辺エリアへの周遊を促進するためのコンテンツ・プロモーションの不足
- ◇コロナの影響による海外向けプロモーションの未実施
- ◇海外向けのプロモーションの機会や情報発信媒体の不足

～方針～

- ◇大宰府政庁跡周辺エリアへの周遊促進のためのコンテンツ造成と合わせたプロモーションの実施
- ◇機会を捉えた観光プロモーションの強化
- ◇欧米豪、タイなど、新たなターゲットを捉えた海外プロモーション

基本施策① 国内観光プロモーション

- ・全国的な商談会や大規模誘客イベント等の機会を使った効果的なプロモーションの実施
- ・来訪者への「令和の都ださいふ」の一元発信

基本施策② 国外観光プロモーション

- ・インバウンド誘客に向けたプロモーションの実施

基本戦略3 受入環境の整備・充実

～背景・課題～

- ◇ごみのポイ捨て、トイレ・喫煙マナー、交通渋滞等のオーバーツーリズムに関する問題が発生
- ◇インバウンドやユニバーサルツーリズムに向けた環境整備のニーズ増
- ◇太宰府館の老朽化及び収支不均衡による運営方法の再検討

～方針～

- ◇オーバーツーリズムへの対策案の検討及び実施
- ◇観光コンテンツの品質向上や各種案内の充実、バリアフリーへの対応
- ◇太宰府館の計画的な改修及び有効活用に向けた民間活力導入の検討

基本施策① 交通利便性の向上

- ・市内二次交通の改善による回遊性向上
- ・福岡市からのアクセスの良さをアピール

基本施策② オーバーツーリズムへの対応

- ・地域一体でのオーバーツーリズム対策の実施

基本施策③ ユニバーサルツーリズムへの対応

- ・ユニバーサルツーリズムへの対応

基本施策④ 観光DXの推進

- ・観光DXによる観光客の利便性向上

基本施策⑤ 施設・建物の整備

- ・門前町や西鉄太宰府駅周辺の再整備

基本戦略4 関係機関との連携強化

～背景・課題～

- ◇本市が持つ多くの観光資源について、効果的な活用を図るためのノウハウや設備等が不十分
- ◇筑紫野市との観光施策にかかる連携が不十分
- ◇本市は全国有数の学園都市であり、これまで大学等と様々な分野で連携し取り組んできた実績あり

～方針～

- ◇各種関係機関(民間事業者、学校、国内外自治体等)の効果的な連携による課題解決

基本施策① 民間事業者等との連携

- ・民間事業者等との連携による観光コンテンツの開発

基本施策② 学校・教育機関との連携

- ・市内学校との連携による観光コンテンツの開発

基本施策③ 国内外自治体等との連携・交流

- ・国内外自治体等との連携による観光コンテンツの開発、広域的な誘客

基本戦略5 持続可能な観光地域づくり

～背景・課題～

- ◇世界的な「持続可能な観光」への関心の高まり

～方針～

- ◇観光コンテンツとなる地域資源の保全、人材の育成
- ◇観光地域づくりの司令塔としてのDMOを含む自立型地域観光組織体制の検討
- ◇本市観光に対する市民の意識・満足度向上と観光施策への参画を通じた地域への愛着と誇りの醸成
- ◇災害や感染症などから地域や観光客を守るための安心安全な観光地域づくり

基本施策① 地域資源の保全・活用

- ・良好な景観や歴史的風致に配慮した環境及び地域資源の保全・活用

基本施策② 観光人材の育成

- ・観光ガイドの育成及び観光ガイド派遣システムの構築の検討

基本施策③ DMOを含む自立型地域観光組織体制の検討

- ・「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの司令塔となるDMOを含む自立型地域観光組織体制の構築に向けた調査検討

基本施策④ 市民の観光施策への参画

- ・観光施策を通じた市民のやりがい、生きがい、地域への愛情や誇りの醸成

基本施策⑤ 安心安全な観光地域づくり

- ・災害等にかかる危機対策の整備による安心安全な観光地域づくりの推進